

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	高齢者の生活援助技術		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	専任講師 看護師
学習目標	1. 加齢が生活に及ぼす影響について理解する。 2. 高齢者の健康・自立を支えるための基本的援助を理解する。 3. 加齢に伴う高齢者の身体症状に対する援助を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1・2	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			演習
	3	老年看護の基本技術・ヘルスアセスメントと実際			講義
	4	高齢者の生活と看護 加齢変化とフィジカルアセスメントの技術 1) 呼吸 2) 食事			講義
	5	3) 排泄 4) 動作と移動			講義
	6	5) 睡眠 6) 体温			講義
	7	7) 清潔 8) 性			講義
	8	9) コミュニケーション			講義
	9	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義
	10	3) 摂食・嚥下障害 4) 脱水 5) 低栄養			講義
	11	6) 皮膚搔痒感 7) 痛み 8) 褥瘡			講義
	12	9) 尿失禁 10) 便秘・下痢			講義
	13	11) 不眠 12) うつ 13) 寝たきり			講義
	14	14) せん妄 15) 転倒 16) 感染症			講義
	15	終講試験			
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	老年看護学技術 《南江堂》				
参考文献	高齢者の健康と障害 《ナーシンググラフィカ》				
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストや文献、講義資料等を活用し、 老生変化について学びを深める		

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	健康障害のある高齢者の看護		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	看護師
学習目標	1. 高齢者の健康障害の特徴と援助方法を理解する。 2. 治療を受ける高齢者の看護を理解する。 3. 高齢者に多い疾患の看護を理解する。 4. 高齢者の終末期の看護を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			講義
	2	薬物療法を受ける高齢者への看護			講義
	3	手術療法を受ける高齢者への看護			講義
	4	リハビリテーションを受ける高齢者への看護			講義
	5	受療形態に応じた高齢者への看護			講義
	6	認知症高齢者への看護			講義
	7	高齢者の尊厳を支える看護			講義
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義
	9	終末期の家族支援 家族介護者の生活支援			講義
	10	急性期の看護（胃がん）			講義
	11	慢性期の看護（COPD）			講義
	12	認知機能障害の看護（アルツハイマー病）			講義
	13	緩和ケア（大腸がん）			講義
	14	パーキンソン病の看護			講義
15	終講試験				
評価方法	筆記試験 100%				
テキスト	老年看護学概論 《南江堂》 老年看護学技術 《南江堂》				
参考文献					
自己学習時間	15時間	事前・事後学習			

\* この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	専門分野Ⅱ	科目名	高齢者看護学演習		
開講時間	2年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	専任講師
学習目標	1. 高齢者の特徴を踏まえた事例による看護過程の展開ができる。 2. 高齢者に対する基本的な看護技術が習得できる。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1	1. 妊娠期における看護 1) 妊娠の生理			演習
	2	2. 健康障害を持つ高齢者の看護過程 高齢者の看護			講義
	3	3. 事例展開のための基礎知識			
	4	1) 事例提示			講義
	5	2) データベース作成			演習
	6	3) 全体像作成			
	7	4) 看護計画立案			
	8	3. 産褥期における看護 1) 褥婦の経過			講義 GW
	9	4. 事例展開			
	10	1) 看護過程の展開			
	11	2) 看護の実際			
	12	5. 術後せん妄を発症した患者への看護			講義
	13	1) 患者への対応(カンファレンス計画・実施)			演習
	14	6. 事例展開のまとめ			
15	終講試験 (事例に関する筆記試験)				
評価方法	筆記試験・レポート提出				
テキスト	1. 老年看護学概論《南江堂》 2. 老年看護学技術《南江堂》 3. 看護診断ハンドブック11版《医学書院》				
参考文献	1. ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断《ヌーヴェルヒロカワ》 2. 看護過程の解体新書《学研》 3. 生活機能からみた老年看護過程《医学書院》 4. 根拠と事故防止からみた老年看護技術《医学書院》				
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	〈事前〉 ・看護過程を復習しておく ・文献等を活用し、カンファレンスについて調べておく ・文献等を活用し、高齢者に対する基本的な技術を予習しておく 〈事後〉 ・臨地実習に活用できるよう十分に復習する		